

公立高等学校を志願する皆さんへ

「学校別実施内容案一覧」と「前期選抜における評価方法案一覧」の見方は次のとおりです。

【学校別実施内容案一覧の見方】

1 「学科」「募集」

- (1) 「学科」欄には公立高等学校のすべての学校・学科を表示してあります。
- (2) } でくくられた学科は「くり募集」を行う学科で、原則として、大学科で募集し、入学後に小学科に分かれて学習することになります。

2 前期選抜（自己推薦型選抜）

- (1) 前期選抜を実施しない学校又は学科については、「前期選抜(自己推薦型選抜)」に関する欄(「募集率%」～「実技検査」)が全て空白になっています。
- (2) 「募集率%」の欄の数字は、募集定員に対する前期選抜の募集人員の比率を示しています。
- (3) 「募集の観点」の欄は、各高等学校がどのような生徒に入学してほしいと考えているかを示したもので、この観点によって選抜が行われます。
- (4) 「志願理由書」の欄は、各高等学校で用意した志願理由書にどのような内容を記入するかを示したもので、願書と一緒に提出していただきます。
- (5) 事前に提出された「志願理由書」の記載内容については、「調査書」及び「面接」の参考資料にします。
- (6) 「面接」の欄は、面接の方法、主な内容及び時間等を示しています。
- (7) 「作文(小論文)」の欄は、出題の方法、字数及び時間等を示しています。
- (8) 小論文Aは与えられたテーマに関して一つの論文として答える形式、小論文Bは与えられたテーマに関して論理的に構成されたいくつかの設問に答える形式です。
- (9) 「実技検査」の欄は、検査の方法等を示しています。

3 後期選抜（一般選抜）

- (1) 「志願理由書」「作文」「実技検査」の欄は前期選抜と同様です。
- (2) 「面接方法」の欄は、対面による面接または紙上面接のどちらを実施するか示しています。
紙上面接については、長野県教育委員会が定めた面接シートを用い、同一の内容で一斉に実施します。
対面による面接については、紙上面接における質問内容を含めて実施します。
「面接」の欄は、対面による面接の主な内容及び時間等を示しています。
- (3) 「傾斜配点」の欄の教科及び数字は、配点に重み付けをしている教科とその倍率で、例えば「英 1.5」は英語が 150 点満点で選抜されるという意味です。
- (4) 「第2志望」の欄の○印は、相互に第2志望での志願を認める学科で、第2志望で合格することもあることを示しています。なお、第3志望については省略しました。

4 再募集

記載方法は後期選抜と同様です。なお、後期選抜とほぼ同じ内容は○印で省略してあります。

5 定時制課程及び定時制課程（多部制）

一覧の見方は、全日制課程とほぼ同じです。

【前期選抜における評価方法案一覧の見方】

- 1 「観点別」の欄は、同一学科内において、「募集の観点」で示した区分により評価方法が異なる場合に、分けて表しています。
- 2 「調査書」から「実技検査」の欄の「比重」の数値は、それぞれの資料が総合判定においてどの程度重視されるのか、その目安を百分率で示したものです。評価点を示したのではなく、それぞれの資料の数値を合計して合否を判定するわけではありません。
- 3 「調査書」から「実技検査」の欄の「項目等」の内容は、それぞれの資料において重視する項目を表しています。「調査書」はすべての記載内容を判定資料としますが、特に重視する項目については「項目等」の欄に表記しています。
- 4 前期選抜を実施しない学校・学科については掲載してありません。